

セルフメディケーション

Self Medication

医療科目 6年／前期 1.5単位 選択科目

科目責任者 石井 文由 (医療製剤学教室)

■ 教育目的

近年、自分自身の健康に責任を持ち、病気の予防および軽度な身体の不調は自分で手当てする「セルフメディケーション」が推進されている。この講座の中では、その推進には、地域医療における薬局薬剤師の役割が大きく関与していること、セルフメディケーションの意義、一般用医薬品と薬剤師のかかわり、顧客・患者とのカウンター業務等を学ぶ。本講座は一般用医薬品のみならずサプリメント、保健機能食品に関しても学び、セルフメディケーションを介して地域住民の健康に貢献できる薬剤師になるために、その知識、技能、態度を修得する。

■ 学習到達目標

1. セルフメディケーションの意義を説明できる。
2. 一般用医薬品と薬剤師の役割を説明できる。
3. 地域医療における薬局薬剤師の役割を説明できる。
4. 患者・顧客とのコミュニケーションの基本を実践できる。
5. サプリメント、保健機能食品に関してその役割を説明できる。
6. 一般用医薬品、サプリメント、保健機能食品等の情報収集を実践できる。
7. 患者・顧客主訴から適正な一般用医薬品を選択できる。
8. 患者・顧客主訴から適正なサプリメント、保健機能食品等を選択できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：5年次の実務実習で習得したセルフメディケーションに関する知識・技能・態度を復習しておく。

復習：講義中に重要項目として解説・説明された箇所を臨床現場と結び付けて習得しておく。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	セルフメディケーション概論	日本の医療の現状、病気予防、受診勧奨	B (1) -2-5 C18 (1) -1-1
2	一般用医薬品と薬剤師	一般用医薬品販売制度改正の意義と概要	C18 (3) -4-1
3~4	地域医療における薬剤師の関わり	地域医療・セルフメディケーションにおける薬剤師の役割	A (3) -5-1、2 B (1) -3-5 C18 (3) -1-1 C18 (3) -4-1
5~6	健康保持と薬剤師	サプリメント、保健機能食品等（演習）	C18 (3) -4-1、3
7~8	トリアージと薬剤師	相談薬局、受診勧奨、一般用医薬品、生活指導、モニタリング等（演習）	C15 (2) -1-1、2 C18 (3) -4-1~3
9~10	スイッチ OTC	医療用医薬品と一般用医薬品、スイッチ OTC の問題点、経済効果等（演習）	B (1) -3-5 C18 (3) -4-2
11~12	適正な一般用医薬品の選択 (1)	患者・顧客とのコミュニケーション、患者接遇、患者・顧客主訴からの一般用医薬品の選択	A (3) -1-1、2 A (3) -3-2、4 C18 (3) -4-2
13~14	適正な一般用医薬品の選択 (2)	情報収集・情報提供、患者データからの一般用医薬品の選択	C15 (2) -1-1、2 C15 (2) -2-7 C18 (3) -4-2
15	総合演習	まとめ	

■ 授業分担者

No.1、13～15：石井 文由、No.2：古澤 康秀、No.3～4、11～12：学外講師、No.5～10：宮沢 伸介、山崎 紀子

■ 成績評価方法

期末試験（90％）および出席状況・授業態度（10％）で総合評価する。